第 30 期　決算速報

（2023 年 7 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日まで）

2024 年 8 月 20 日

株式会社　旅籠屋

会社名（定款上の商号）	株式会社　旅籠屋
英文名（英文商号）	Hatagoya & Company
代表者の役職氏名	代表取締役社長　吉井　慎也
本店の所在地	東京都台東区寿３丁目３番４号
電話番号	03-3847-8858
連絡先	取締役 土谷 裕一

Ⅰ　当期の業績

（1）　損益計算書　（単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております）

期別 科目	当年度 2023.7.1～ 2024.6.30	前年同期比	前年度 2022.7.1～ 2023.6.30
Ⅰ　営業収益　　売上高	2,431,760	＋4.3%	2,330,659
Ⅱ　営業費用　　売上原価	1,923,281	＋1.2%	1,901,239
販売費及び一般管理費	259,098	＋11.0%	233,493
営業利益または営業損失（▲）	249,381	＋27.3%	195,926
Ⅲ　営業外収益	7,753	▲22.3%	9,972
Ⅳ　営業外費用	41,043	＋12.0%	36,631
経常利益または経常損失（▲）	216,090	＋27.7%	169,268
Ⅴ　特別利益	－	▲100.0%	19,403
Ⅵ　特別損失	26,343	＋31.4%	20,042
税引前当期純利益または純損失(▲)	189,746	＋12.5%	168,629
法人税、住民税及び事業税	17,098	▲2.5%	17,533
法人税等調整額	▲31,349	▲36.0%	▲48,993
当期純利益または純損失(▲)	203,997	＋2.0%	200,088
期中平均株式数	5,589	－	5,589
1株当たり当期純利益または純損失(▲)	36,500円	+700円	35,800円

・潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
・当年度の特別損失は役員退職慰労金、金沢内灘店の震災による損失等です。

（2）　貸借対照表　（単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております）

科目	期別		前年度 2023.6.30	当年度 2024.6.30
（資産の部）	Ⅰ　流動資産	現金預金	814,124	783,127
		その他	93,458	225,106
		流動資産合計	907,583	1,008,234
	Ⅱ　固定資産	リース資産	232,364	192,486
		他の有形固定資産	855,370	784,927
		無形固定資産	5,705	543
		投資その他の資産	264,029	203,669
		固定資産合計	1,357,471	1,181,626
		資産合計	2,265,054	2,189,860
（負債の部）	Ⅰ　流動負債		438,769	293,783
	Ⅱ　固定負債	長期借入金	1,847,831	1,762,852
		他の固定負債	275,168	225,941
		負債合計	2,561,768	2,282,577
（純資産の部）	Ⅰ　株主資本	資本金	100,000	100,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916
		その他資本剰余金	41,710	41,710
		利益剰余金　繰越利益剰余金	▲450,542	▲246,545
		自己株式	▲56,798	▲56,798
		株主資本合計	▲296,714	▲92,716
		純資産合計	▲296,714	▲92,716
		負債・純資産合計	2,265,054	2,189,860
	発行済株式総数		5,589株	5,589株
	1株当たり純資産		▲53,089円	▲16,589円

・長期借入金のうち 150,000 千円は日本政策金融公庫から、300,000 千円は商工組合中央金庫から、300,000 千円は日本政策投資銀行からのそれぞれ資本性借入金であり、金融検査上資本と見なされます。

（3）株主資本等変動計算書 （2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示）

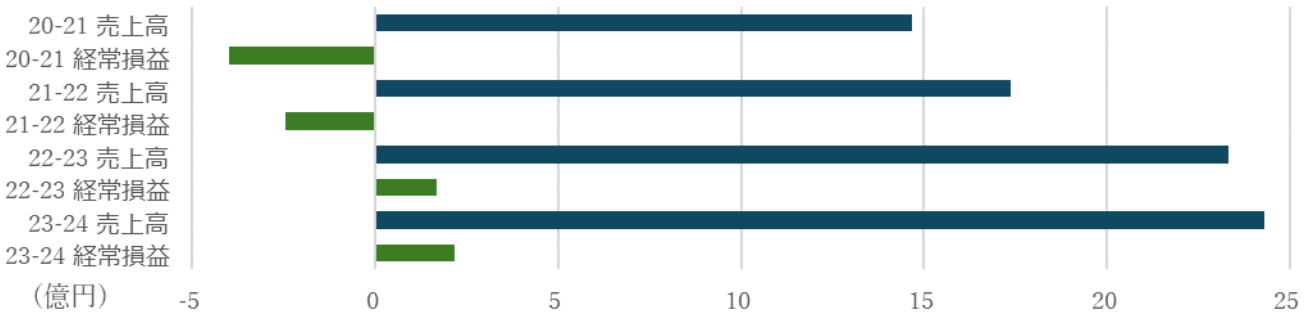
項目	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	100,000	68,916	41,710	▲450,542	▲56,798	▲296,714	▲296,714
変動額　純利益				203,997		203,997	203,997
変動額の合計				203,997		203,997	203,997
2024 年 6 月 30 日残高	100,000	68,916	41,710	▲246,545	▲56,798	▲92,716	▲92,716

（4）貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

重要な会計方針等は「第 29 期事業報告書　注記表　Ⅰ.重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。

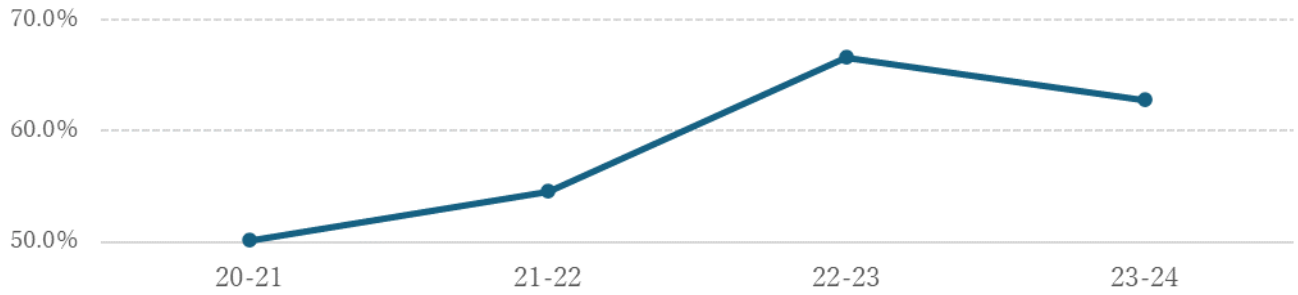
Ⅱ　第 30 期（2023 年 7 月 1 日～～2024 年 6 月 30 日）の業績の概況

売上高･経常損益（全社合計）の推移 （2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）



昨年同期と比較して売上高は 2,330,659→2,431,760 千円、経常損益は 169,268→216,090 千円といずれも改善しました。10 月に実施した室料値上げが効いています。

客室稼働率（全店通算）の推移 （2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）



客室稼働率は、前年同期 66.6%から 62.8%へと落ち込みました。週末は順調でしたが、平日のビジネス需要が芳しくありませんでした。
【部門別内訳】については、掲載を見合わせております。オーナー様へは要望に応じてレポートさせていただきます。

Ⅲ　第 31 期の売上高および利益の予測について

（単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております）

期別／科目	第 28 期　通期実績 2021.7.1～2022.6.30	第 29 期　通期実績 2022.7.1～2023.6.30	第 30 期　通期実績 2023.7.1～2024.6.30	第 31 期　通期予想 2024.7.1～2025.6.30
売上高	1,735,040	2,330,659	2,431,760	2,470,682
経常損益	▲246,384	169,268	216,090	204,685
当期純損益	▲329,585	200,088	203,997	119,941

第 31 期の売上高は室料値上げ分が全期間に作用しますが、店舗数減の影響があり売上高は微増となります。当期純利益は役員退職慰労金、係争の和解金等により一時的に減少する見込みです。

Ⅳ　資金および借入金の状況

（1）現金および預金の増減 （単位：千円、千円未満は切り捨て）

期 科目	第 29 期 2023.4.1～6.30	第 30 期 2024.4.1～6.30
現金および預金の増減額	＋217,594	▲30,996
現金および預金の期首残高	596,529	814,124
現金および預金の期末残高	814,124	783,127

（2）一年長期借入金の増減 （単位：千円、千円未満は切り捨て）

期 科目	第 29 期 2023.4.1～6.30	第 30 期 2024.4.1～6.30
一年長期借入金の増減額	＋152,344	▲67,368
一年長期借入金の期首残高	－	152,344
一年長期借入金の期末残高	152,344	84,976

（3）長期借入金の増減 （単位：千円、千円未満は切り捨て）

期 科目	第 29 期 2023.4.1～6.30	第 30 期 2024.4.1～6.30
長期借入金の増減額	▲152,344	▲84,979
長期借入金の期首残高	2,000,175	1,847,831
長期借入金の期末残高	1,847,831	1,762,852

Ⅴ　30 期の振り返り

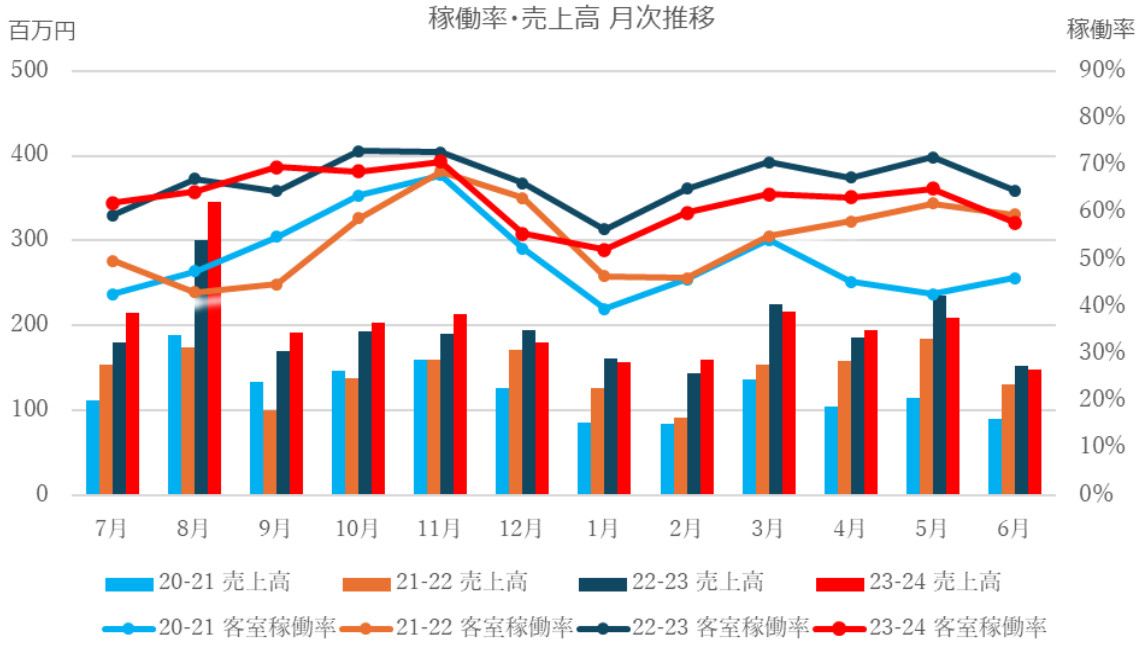
前半はコロナ以前に戻る勢いで売上も稼働率も順調でした。しかし、12月に急激に稼働率が落ち込み、その後はコロナ前に比べて▲5ポイント程度稼働率が低い状態が現在も続いています。これは、ガソリンを含めた全面的な物価高に加えてインバウンド需要で全国的に室料が高騰したことによる旅行マインドの低下、さらに平日のメインターゲットとしている建設業界の不振が挙げられます。対策として、物価上昇に合わせて室料を2年連続でアップし、結果的には最高売上、最高利益となりました。

また大きな転換点として、10月には自社サイトをリニューアルし予約システムを導入しました。客の利便性向上また店舗の工数減につながっています。またコロナで見送っていた全館清掃や寝具の入れ替え等の施策も実施することができました。

店舗ネットワークについては、3減0増となり店舗数が76→73店に減りました（那須店はリニューアル準備中）。自社店舗である日光鬼怒川店、秋田六郷店は老朽化により修繕が必要でしたが費用対効果を考え、それぞれ12月、1月に閉店することになりました。また元日の能登半島地震で被災した金沢内灘店は再建困難ということで閉店しました。新規出店については、建設費用の高騰により投資と回収のバランスが取れなかったことから、検討したものの中止になりました。

昨年度も課題とした人財の確保、物価・光熱費高騰については、いずれもすぐに解消するものではなく、しばらくは状況を注視しつつ引き続き対応する必要があります。

◆売上高と客室稼働率の月次推移



以上